

探鳥会スタッフ通信

2021年
12月号



「探鳥会スタッフ通信」は、探鳥会の考え方や様々な運営手法について、全国の連携団体の探鳥会リーダーの皆様と情報交換を行うための通信です。

目次

- ◆愛知県支部 オンライン講座「超簡単！あなたも読める英語鳥図鑑入門」に参加して・1
- ◆感染対策を取り入れた探鳥会を実施して
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- ◆普及室からのお知らせ
・2月開催の「初心者向けバードウォッチング」
実施概要をお送りください・・・・・・・・6
- ・バードウォッチングに出かける際の鳥インフルエンザへの配慮のお願い・・・・6
- ◆探鳥会開催状況・・・・・・・・・・・・7
(2021年10月分)
- ◆探鳥会保険集計結果 ・・・・・・・・9
(2021年10月分)
- ◆今月の購読者数・・・・・・・・・・・・11
- ◆探鳥会スタッフ通信の無料配信について・12
- ◆編集後記・・・・・・・・・・・・・・12

◆愛知県支部

オンライン講座「超簡単！あなたも読める英語鳥図鑑入門」に参加して

愛知県支部で初めてのオンラインイベントが開催されるということで、参加させていただきました。とてもユニークな内容で、見せ方や進め方にさまざまな工夫がある講座でしたので、ご報告します。

■イベント概要

- 【日時】2021年10月30日(土)
16～17時半
- 【開催方法】Zoom meeting を利用
- 【講師】野澤徹也氏(愛知県支部副支部長)
- 【対象】中学生以上。英語鳥図鑑を買ったけど読み方が分からない人や、これから英語鳥図鑑を読みたいという方。英語の文法レベルは中学生程度。
- 【参加寄付金】
一口1,500円[会員一口以上、一般二口以上、学生一口(応相談)]
※申込者に振込用紙を送付。
- 【申込方法】オンラインのイベント予約サイト「パスマーケット」で申し込み。
- 【参加者】16名(うち財団職員2名)
- 【スタッフ数】6名

■講座の内容

【はじめに】
冒頭に、新實支部長からあいさつがあり、野澤さんの講義へ。「英語図鑑を読んでも意味が分からない」という状態から「何となくわかる」になることが目的であること、全部で4回の英語図鑑の講座が予定されており、今回はその1回目であることが伝えられました。



▲講師の野澤さん。翻訳家としても活躍中。

【講義内容】

今回は「英語鳥図鑑の省略表現に慣れる」がテーマです。

英語鳥図鑑のわかりにくさの一つが、本来の英文にあるべき単語が省略されていることであるため、単語を補うことで理解しやすくなる、という説明がありました。実際の図鑑から例文を引用し、そこに省略された単語を補って英文の意味を理解していく過程が実演されました。また、頻出英単語の解説もあり、「英語図鑑の文章は、こうして理解していけばいいんだな」というヒントがもらえたように思いました。

■オンラインイベントの進め方・見せ方の工夫【開始前】

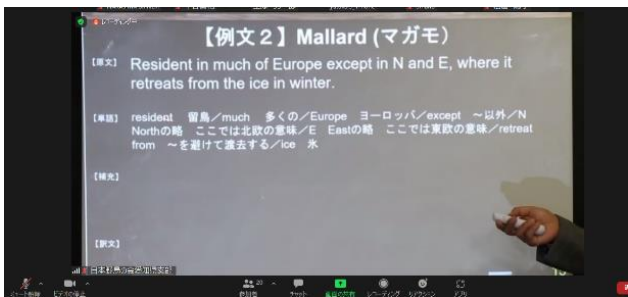
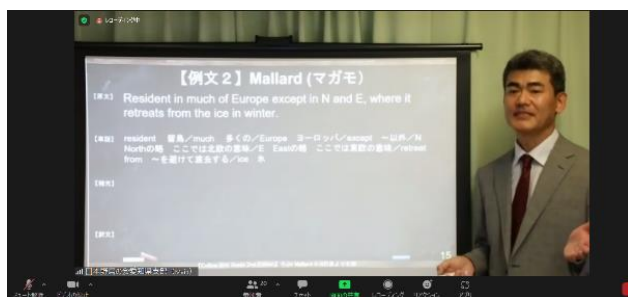
参加者に「パスマーケットのチケットをご自分のカメラに向けて見せてください」と呼びかけられ、スタッフの方が、参加者一人一人のチケットを確認していました。

【講義中】

講義は、野澤さんの横に置かれたスクリーンに講義内容のスライドを映しながらすすめられました。

スクリーンは、講師と一緒に画面に映るように撮影されていました。それによって、講師が参加者に語り掛けている雰囲気がよく伝わり、対面で話を聞いている気分になりました。

さらに、講義中スクリーンをクローズアップした映像と、野澤さんとスクリーンの映像の2つの映像を切り替えていました。話の流れに合わせて画面が切り替えられたので、文字情報に集中するときと、野澤さんのお話を聞くときが明確でした。



▲スクリーンの拡大映像(上)、講師の映像(下)の2種類の映像を切り替えながら講義が進められました。

また、スライドと同じ内容の資料が、事前にメールで参加者に配られていたので、画面と資料を見ながら理解を深めることができました。

■イベントの背景について

－ 新實支部長にお聞きしました －

Q. オンラインイベントを始めたきっかけは？

A. コロナウイルスの影響で、長期にわたり探鳥会が中止となったので、会員へのフォローのため、退会者を抑えるために「何かできることをやっぺいこう」という方針を立てました。その「何か」の一つがオンライン講座でした。6月に野澤さんから今回のテーマでやりたいという提案があり、他ではやらないテーマであり、野鳥の生態やうんちくを語る”直球勝負”でないところが愛知県支部らしいという事で行うことになりました。

Q. 6月に企画し、何度もリハーサルされたと聞きました。どのような準備をしましたか？

A. いくつかのオンライン講座やセミナーなどを視聴して、愛知県支部がやるなら「講師の顔が見え、プロジェクターでスライドを写しながら説明するところを配信する」という方針を決めて準備を始めました。

最初は野澤さんのスライドやスピーチなど講演内容に関わるものをチェックして、後半はビデオの写り具合や音声、照明のチェックなどを行っています。また、台本を作成して人の立ち位置、講演者とスタッフの動きなども決めました。

Q. 工夫したことはありますか？

A. 高い機材は買えないので、支部にあるものやスタッフが持っているもの（カメラ）の中でいかにクオリティをあげるかを考え、工夫しています。

具体的には、webカメラは画質が悪いので、一眼レフカメラを使ったこと、カメラ1台では講師を入れるとスライドが小さくなってしまふので、講師を入れる場合・入れない場合で2台のカメラを固定して設置し、切り替えはZoomで行ったこと、「講師は明るく、スライドは暗く」なるよう照明機器を工夫したこと、インターネットは全てLANケーブルで繋いで回線を安定させたこと、などです。

また、カメラやスクリーンの位置調整、マイクの種類などにも気を配り、トライ&エラーを繰り返しながら準備をすすめました。

Q. なぜ有料にしたのでしょうか？

A. 支部の財政を踏まえ、「支出は一円でも安く、収入は一円でも多く」をめざしているため。会員と一般で金額に差を付けて会員へ勧誘できればと思って有料にしました。

Q. 実施してみたの手ごたえ、気づいたことは？

A. スタッフは、準備や工夫を楽しみながらやっているので主催する方としてはとてもやりがいがあります。また、オンラインイベントは全国から応募があるので、今回のように愛知県支部の会員でない人からも受講料をいただけること、支部にとってもメリットがあると気づきました。

Q. 参加者の反応は寄せられましたか？

A. 「英語図鑑に憧れていたのに手を出せなかったので、良いきっかけ作りができました」「コロナや雨天時で外出出来ないときも、図鑑で楽しめるので、とても参考になりました」などの意見が寄せられ、概ね好評でした。

Q. 今後のオンラインイベントの予定は？

A. 講座の中で講師が4回の予定を話しており、現在2回目に向けて準備を始めました。今回の反省を踏まえてより良いものを目指しています。



▲最後には、配信している室内の様子やスタッフのみなさんの紹介も。

★イベントをご覧になりたい方へ (愛知県支部より)

この講座の要約版と初の講座を記念してスタッフがノリで作成したメイキングビデオ「舞台裏」を Youtube に日本野鳥の会愛知県支部公式チャンネルを開設して公開しました。

英語鳥図鑑 本編要約：

<https://youtu.be/lvG72ELtoTs>

英語鳥図鑑 舞台裏：

https://youtu.be/FjAokhC_iSE

こちらを見ていただけると概ねのことはわかると思います。

(チャンネル登録もお願いします)

■まとめ

「できることをやってみよう」という愛知県支部のみなさんの前向きな姿勢に圧倒されたイベントでした。財団事務局でもオンラインイベントを実施していますが、参考になることが多くありました。

また、「英語鳥図鑑を読む」という、今まで気づけなかった、新しいバードウォッチングの楽しみ方を知ることができ、視野が広がりました。次回の講座も楽しみです。

(普及室／江面康子)

◆感染対策を取り入れた探鳥会を実施してみても

全国的にコロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたことを受け、11月に財団事務局でも探鳥会を実施してみました。感染対策を取り入れながらどのように運営ができるか、実際に試してみましたので、ご報告します。

■イベント概要

【日時】2021年11月3日（祝・水）

【場所】東京都立東京港野鳥公園

【実施方法】1回1時間。定員8人、スタッフ1人の探鳥会を実施。同じコースで時間をずらしながらスタートし、1日に12回実施しました（スタッフは4人×3回実施）。

【参加費】1人500円（中学生以下無料）

【参加者】当日参加者は82人（大人74人、中学生以下8人）。申込128人、95人受付。



▲探鳥会の様子。家族単位で距離を取っても、声が行き届く規模でした。

■感染対策

(1)人数

1回の定員は8人としました。1人のスタッフが案内しても声が届く範囲であり、安全管理も可能な人数と考えました。実施した結果、特に問題なく参加者を案内することができました。

また、全体への呼びかけも、個別の対応も行き届く人数で、終始和やかな雰囲気ですべてを進めることができました。

(2)事前申込制

事前にメール申込で参加者の受付をし、名簿を作成。当日は、スタッフが参加者名簿にチェックするだけとしました。

(3)当日の注意事項の周知

当選通知を送る際にマスクの着用、体調不良

時は参加を見合わせるよう呼びかけました。

(4)道具の消毒

希望者には、個々に、図鑑と双眼鏡を貸し出しました。道具類は使用後にアルコール消毒を行いました。

(5)望遠鏡の消毒

昨年と比べて消毒用品が入手しやすくなったことを踏まえ、こまめにアイピースを消毒する方法を試してみました。

その結果、参加者が目をアイピースにべったりつけてのぞいている様子も見られず、また、こまめな消毒も実施することができました。一人一つ双眼鏡を持っていたこともあり、望遠鏡を利用する回数もそれほど多くなく、消毒の回数は1時間で3～5回ほどでした。

【消毒の方法】

①アイピースの目当てゴムは、常に縮めた状態（眼鏡で使用する状態）にしておき、参加者が目をつけなくてものぞけるようにしておく。



②使用するときには、なるべくアイピースに目をつけないように呼び掛ける。

③数名使ったら、アイピースをアルコールで消毒をする（※）。

あわせて、ピントリングやパンハンドルなど手で触るところも消毒する。

※【参考】アルコール消毒の方法

その1

消毒用アルコールをいれたスプレーボトルと、ふき取り用の布を用意します。スプレーでアルコールを布にかけ、布でアイピースを拭きとります。



▲望遠鏡にスプレーボトルと布を取りつけておくと、気づいたらすぐにアイピースを拭くことができます。



▲スプレーボトル(50ml・アルコール用)は、ペットボトル持ち歩き用の金具につけて、望遠鏡に取り付けました。いずれも100円ショップで購入しました。布は眼鏡ふきを使用しました。

その2

小さく切ったキッチンペーパー等にアルコールをしみこませ、ジップロックに入れておきます。消毒するときに1枚ずつ取り出し、アイピースを拭きます。



▲腰に巻いて携帯できるバッグなどに入れて携帯する。ポケットが複数あると、使用後の紙を分けて持ち帰るのに便利。

■まとめ

現在はコロナウイルスの感染状況が落ち着いていますが、社会的には感染対策が求められる状況は継続すると思われます。ご参考になれば幸いです。

みなさんの支部で実践している感染対策の事例がありましたら、ぜひスタッフ通信で共有していただければと思います。

(普及室/江面康子)

◆普及室からのお知らせ

■2月開催の「初心者向けバードウォッチング」実施概要をお送りください■

2月開催の「初心者向けバードウォッチング」実施概要の締め切りは、12月末日となります。開催を予定される支部の皆さまは、実施概要を

お送りください。
※詳細は10/15付で各支部事務局に送付した資料をご覧ください。

■バードウォッチングに出かける際の鳥インフルエンザへの配慮のお願い■

この冬も、国内で高病原性鳥インフルエンザ（以下、鳥インフルエンザ）の野鳥での確認例が報告されるようになりました。水鳥が集まる場所でバードウォッチングをする際の配慮事項を以下のページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

被害の拡大が抑えられるよう、バードウォッチャーができることに協力していきましょう。

- バードウォッチングに出かける際の鳥インフルエンザへの配慮のお願い
(日本野鳥の会普及室普及教育グループブログ)
<http://wildbirdfkg.seesaa.net/article/torifuru2021.html>

※以下のページもあわせてご確認ください。

- 国内の野鳥における発生状況について
(環境省 HP)

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/#WILDBIRD

- 国内の家禽における発生状況について
(農林水産省 HP)

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r3_hpai_kokunai.html

- 野鳥と高病原性鳥インフルエンザ
(日本野鳥の会 HP)

<https://www.wbsj.org/activity/conservation/infection/influenza/>

- バードウォッチャー向けの鳥インフルエンザに関する注意喚起のポスター
(日本野鳥の会作成)

https://www.wbsj.org/files/tori_influenza_poster.pdf

◆探鳥会開催状況（2021年10月分）

2021年10月は57支部が計173回の探鳥会を開催しました。昨年同月の開催支部数は55支部、開催探鳥会数は149回でした。（開催回数には中止の回数は含みません。）

表1. 10月の探鳥会開催状況（探鳥会保険の申請結果から作成）

支部	探鳥会開催回数 (2020年10月)	探鳥会開催回数 (2021年10月)
オホーツク支部	1	1
根室支部	-	-
釧路支部	-	1
十勝支部	-	-
旭川支部	0	0
滝川支部	1	0
道北支部	1	0
江別支部	-	-
札幌支部	2	0
小樽支部	2	1
苫小牧支部	1	1
室蘭支部	1	2
道南桧山	1	1
青森県支部	-	-
弘前支部	2	2
秋田県支部	3	4
山形県支部	1	1
もりおか	1	1
北上支部	1	1
宮古支部	-	-
宮城県支部	1	3
ふくしま	2	2
郡山支部	1	1
白河支部	1	1
会津支部	1	-
奥会津連合	-	-
いわき支部	1	0
福島県相双支部	-	-
南相馬	0	0
茨城県	8	10
栃木県支部	0	3
群馬	6	0
吾妻	1	1
埼玉	4	0
千葉県	8	6
東京	2	6
奥多摩支部	-	8
神奈川支部	7	11
新潟県	1	2
佐渡支部	-	-

富山	3	3
石川	2	2
福井県	1	1
長野支部	3	2
軽井沢支部	0	1
諏訪支部	-	-
木曾支部	1	1
伊那谷支部	0	0
甲府支部	1	0
富士山麓支部	0	1
東富士	-	-
沼津支部	-	1
南富士支部	0	0
南伊豆	1	0
静岡支部	-	1
遠江	2	3
愛知県支部	9	11
岐阜	-	-
三重	0	1
奈良支部	3	2
和歌山県支部	1	1
滋賀	4	4
京都支部	3	5
大阪支部	4	5
ひょうご	3	3
NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	3	2
島根県支部	3	2
岡山県支部	6	4
広島県支部	0	3
山口県支部	3	4
香川県支部	2	3
徳島県支部	5	5
高知支部	-	3
愛媛	5	6
北九州支部	0	0
福岡支部	6	6
筑豊支部	4	4
筑後支部	4	4
佐賀県支部	2	3
長崎県支部	-	1
熊本県支部	-	4
大分県支部	1	1
宮崎県支部	0	0
かごしま県支部	0	0
やんばる支部	-	-
西表支部	2	-
報告支部数合計	67	72
開催支部数合計	55	57
開催回数合計	149	173

備考：-は保険の申請がなかったことを示しています。

(普及室)

◆探鳥会保険集計結果（2021年10月分）※中止と下見を含む

10月は72支部からご報告をいただき、計199回の探鳥会が開催され、のべ3,368人が参加されました。（開催回数には中止の回数も含まれます。参加者数には中止の際の当日対応も含まれます。）

表2. 10月の探鳥会保険集計結果（2021年11月15日現在）

支部	開催回数 (回)	参加者数		スタッフ数 (人)	合計人数 (人)
		会員(人)	一般(人)		
オホーツク支部	1	7	0	1	8
根室支部	-	-	-	-	-
釧路支部	1	4	3	1	8
十勝支部	-	-	-	-	-
旭川支部	0	0	0	0	0
滝川支部	0	0	0	0	0
道北支部	0	0	0	0	0
江別支部	-	-	-	-	-
札幌支部	2	0	0	2	2
小樽支部	1	4	1	1	6
苫小牧支部	1	7	3	1	11
室蘭支部	2	24	15	3	42
道南桧山	1	4	26	4	34
青森県支部	-	-	-	-	-
弘前支部	2	25	15	2	42
秋田県支部	4	24	4	4	32
山形県支部	1	10	0	1	11
宮古支部	-	-	-	-	-
もりおか	1	15	3	5	23
北上支部	1	8	0	1	9
宮城県支部	4	73	19	16	108
ふくしま	2	41	0	4	45
郡山支部	1	11	3	3	17
白河支部	1	3	2	1	6
会津支部	-	-	-	-	-
奥会津連合	-	-	-	-	-
いわき支部	0	0	0	0	0
福島県相双支部	-	-	-	-	-
南相馬	0	0	0	0	0
茨城県	10	43	61	14	118
栃木県支部	3	44	19	15	78
群馬	0	0	0	0	0
吾妻	1	11	13	3	27
埼玉	4	0	0	14	14
千葉県	8	80	21	30	131
東京	6	121	2	31	154
奥多摩支部	8	115	22	27	164
神奈川支部	11	96	26	32	154
新潟県	2	3	5	7	15
佐渡支部	-	-	-	-	-

富山	3	62	19	8	89
石川	2	30	9	5	44
福井県	1	8	2	3	13
長野支部	3	49	8	6	63
軽井沢支部	1	7	1	1	9
諏訪支部	-	-	-	-	-
木曾支部	1	10	8	2	20
伊那谷支部	0	0	0	0	0
甲府支部	1	0	0	3	3
富士山麓支部	1	6	0	1	7
東富士	-	-	-	-	-
沼津支部	1	12	0	2	14
南富士支部	0	0	0	0	0
南伊豆	0	0	0	0	0
静岡支部	1	10	10	3	23
遠江	3	35	1	13	49
愛知県支部	11	136	33	43	212
岐阜	-	-	-	-	-
三重	3	24	6	6	36
奈良支部	2	45	0	4	49
和歌山県支部	1	4	0	3	7
滋賀	4	28	13	8	49
京都支部	6	65	0	22	87
大阪支部	10	70	0	49	119
ひょうご	3	15	23	14	52
NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	2	19	17	2	38
島根県支部	2	28	18	2	48
岡山県支部	4	82	44	10	136
広島県支部	3	29	0	3	32
山口県支部	4	29	30	4	63
香川県支部	3	85	13	4	102
徳島県支部	5	100	7	5	112
高知支部	3	20	38	3	61
愛媛	6	80	18	9	107
北九州支部	0	0	0	0	0
福岡支部	6	90	31	15	136
筑豊支部	4	37	0	4	41
筑後支部	4	35	0	8	43
佐賀県支部	3	73	22	4	99
長崎県支部	2	7	1	5	13
熊本県支部	4	47	45	6	98
大分県支部	1	18	6	5	29
宮崎県支部	4	0	0	4	4
かごしま県支部	2	0	0	2	2
やんばる支部	-	-	-	-	-
西表支部	-	-	-	-	-
全国	199	2,168	686	514	3,368

備考：-は保険の申請がなかったことを示しています。

(普及室)

◆今月の購読者数

探鳥会スタッフ通信 12月号の電子メール版の購読者数は、先月から変わらず880名です。各支部の購読者数は、「財団からの配信者数」と「支部からの転送による配信者数」の合計です。

表3. 探鳥会スタッフ通信 12月号電子メール版の購読者数（2021年12月15日現在）

支部	購読者数	支部	購読者数
オホーツク支部	7	軽井沢支部	1
根室支部	2	諏訪	6
釧路支部	4	木曾支部	1
十勝支部	1	伊那谷支部	1
旭川支部	3	甲府支部	4
滝川支部	1	富士山麓支部	0
道北支部	1	東富士	0
江別支部	0	沼津支部	3
札幌支部	6	南富士支部	3
小樽支部	3	南伊豆	2
苫小牧支部	2	静岡支部	2
室蘭支部	4	遠江	11
道南桧山	2	愛知県支部	45
青森県支部	1	岐阜	6
弘前支部	4	三重	20
秋田県支部	4	奈良支部	6
山形県支部	4	和歌山県支部	5
宮古支部	1	滋賀	20
もりおか	4	京都支部	33
北上支部	2	大阪支部	29
宮城県支部	39	ひょうご	17
ふくしま	6	NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	10
郡山支部	1	島根県支部	13
白河支部	2	岡山県支部	28
会津支部	2	広島県支部	8
奥会津連合	0	山口県支部	16
いわき支部	1	香川県支部	7
福島県相双支部	0	徳島県支部	5
南相馬	4	高知支部	1
茨城県	22	愛媛	16
栃木県支部	59	北九州	11
群馬	24	福岡支部	12
吾妻	1	筑豊支部	23
埼玉	38	筑後支部	6
千葉県	24	佐賀県支部	5
東京	67	長崎県支部	3
奥多摩支部	49	熊本県支部	13
神奈川支部	28	大分県支部	4
新潟県	2	宮崎県支部	5
佐渡支部	1	かごしま県支部	4
富山	3	やんばる支部	0
石川	30	西表支部	1
福井県	12	合計	880
長野支部	3		

(普及室)

◆探鳥会スタッフ通信（電子メール版）の無料配信について

探鳥会スタッフ通信は、支部の探鳥会スタッフならどなたでも受信できます。（無料です）

ご希望の方は、「探鳥会スタッフ通信希望」と明記のうえ、①支部名 ②担当している探鳥会名 ③お名前 ④ご住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス（パソコンやスマートフォンのア

ドレス）を記入し、tancho-staff@wbsj.orgへお申し込みください。バックナンバーとともにメール版を送信いたします。

配信を希望されない、メールアドレスの変更などについても、tancho-staff@wbsj.orgまでお知らせください。

★編集後記

徐々にかつての日常生活を取り戻しつつある日々でしたが、ここにきてまた新しい変異株が…世界中で感染拡大しているというニュースを見る度に、引続き予防（マスク着用・うがい・手洗い）にしっかり取組まなければ！と、身の引き締まる思いの今日この頃です。

（普及室／十倉 久枝）

日本野鳥の会

探鳥会スタッフ通信 第105号

◆発行

（公財）日本野鳥の会 2021年12月15日

◆担当

普及室 普及教育グループ

〒141-0031

東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル

TEL：03-5436-2622

FAX：03-5436-2635

E-mail：tancho-staff@wbsj.org
